

自分の思いや気持ちをたっぷりと表現しながら、 それを十分に受け止めてもらう中で 自分の気持ちに気付いていく



大人と歩いていたぐんぐんさんが、お友達同士で手を繋いで歩いている…！そんな姿に大きくなったなあ～と成長を噛み締めてしまいました。

疲れて座ってしまったり、立ち止まってしまった時にはお顔を覗き込んでくれたり、手を差し伸べてくれたり…そんな相手の姿に応じて、また頑張ろう。と一歩踏み出す姿に、お互いに気持ちを受け止め合う心の通い合いも感じました。



大人が気持ちを受け止めてあげていたら、だんだん子ども同士で受け止め合うようになっていくんですね



お手伝いをしてあげたりしてもらったりする姿にも、お互いの姿の受け止め合いがあります。どちらか一方的な気持ちや行動では成り立たないことだと思うと、こんな姿も、受け止め、受け止められ、という姿なのだと感じます。



「自分の気持ちを受け止めてもらう」というだけでなく、「相手のやりたいことをわかって、ちょっと付き合っただけ」というような姿もあります。はるちくんは、何度もお茶を飲ませてくれる、ちっち組のみちるちゃんの姿に応え、そのたび素直にお茶を飲ませてもらっていました。

他者の意図や思いを理解して自分の行動を調整してあげているようにみえますね



先生を安全基地（Secure Base）にしてそこから離れて探索する世界が広がりますね

「せんせー、なあに？」と言いながら、何度も滑り台に挑戦するりのちゃん。先生の存在を感じながら、おしゃべりも楽しみながら、滑り台の滑り方を研究したりその感覚を楽しんだりしていたりのちゃんでした。



言葉や関わりだけでなく、こうしてそばで見守られている…という感覚の中で過ごすことも、安心感につながっていくのかなあ。…そうであったら良いなあと思います。(笑)